

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成25年度採択課題）

中間評価結果

番号	研究名	研究代表者	評価
25-3	事故発生位置情報を用いた事故分析総合システムの研究開発	東京大学 特任教授 山田 晴利	B

＜研究の概要＞

これまでの事故データでは、事故発生位置がわかるのは道路管理者がマッチング作業を行って位置情報を付与している一般都道府県道以上の道路での事故のみであり、これ以外の道路の事故発生場所は不明で、場所を特定しての分析はできなかった。2012年から全ての人身事故について発生位置が付与されるようになったので、地理情報システム(GIS)を援用し位置情報の入力支援・品質管理から分析まで網羅できる、わが国初の総合的な全国事故分析システムを研究・開発する。これは事故分析のもっとも基本的な情報基盤であり、細街路、ゾーン30等これまで十分な分析が行えなかった道路、地域を対象とした分析に加えて、ヒヤリ・ハットデータやドライブレコーダのデータとの連携、沿道の建物用途・土地利用形態・道路線形との関連分析を可能とし、「幹線道路と生活道路における事故対策の展開」に寄与する。

＜中間評価結果＞

採択時の要望事項への対応を研究計画に反映させるとともに、構築したシステムでどのような事故分析が可能となるかを明らかにして進めること。

＜今後の研究計画・方法への指摘事項＞

1. 採択時の要望事項を反映した研究計画としていただきたい。
2. システムにより、具体的にどのような事故分析が可能となるか、そのメニューを研究計画に具体的に示していただきたい。
3. 道路管理者が事故対策の実務分析で使えるように、使い勝手の向上や信頼精度を高めるとともに、使いやすいシステムの構築を目指していただきたい。
4. 道路管理者だけでなく、学校など広く一般に使いやすいシステムとする方策についても、検討を進めていただきたい。
5. 事故発生位置の誤差等を修正・改善する方策についても、検討を進めていただきたい。